

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2491400061		
法人名	ヘルスケアサポート株式会社		
事業所名	グループホームいなべ		
所在地	三重県いなべ市員弁町松ノ木367-1		
自己評価作成日	平成 29 年 9 月 16 日	評価結果市町提出日	平成29年12月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報公表システムページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/24/index.php?action=kouhou_detail_2016_022_kihon=true&JigvoNoCd=2491400061-00&PrefCd=24&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 三重県社会福祉協議会
所在地	津市桜橋2丁目131
訪問調査日	平成 29 年 10 月 2 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様が、楽しく、いきいき暮らせるよう 日々のニュース 四季を感じながら 野菜を作ったり、収穫の楽しみ 旬の味を味わっていただきます。
体調管理をDr. ナース 職員と連携しおこないます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開所して13年が経過、1昨年、オーナーが変わり、9人定員のホームとして施設長のリーダーシップのもとチームワークよく職員同士が助け合いながら介護に努めている。西に鈴鹿の山、東に多度山が見え、住宅や畑に囲まれた自然豊かな環境である。ホームの中庭周辺に家庭菜園の畑があり、季節の野菜を利用者と一緒で作っている。今年は夏野菜のきゅうりの成り具合がよく、採り立てを生で食べたり、きゅうちゃん漬けにして食卓に彩りを添えた。家族からの信頼も厚く、利用者の健康管理に努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔と信頼」の理念のもと、毎朝一番に職員は入居者様に 笑顔であいさつさせていただきます。「何かいつもと違う」と思う些細な気づきを大事にし、職員で共有させていただきます。	朝出勤したら「おはよう」と元気な声で挨拶をして、利用者の顔色や表情、様子を見ながら、お互い笑顔で挨拶を交わし、その日の一日が始まるよう、理念の実践に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩や地域の祭り等にでかけ 地域 近所の皆様と話をし、気軽に話せる環境作りをめざしています。	前オーナーが地元で家主でもあり、そこから地域とのつきあいを構築している。道端で会えば挨拶をし、時には採れた野菜をいただくこともある。地域の祭りに参加したり、今年事業所主催の夏祭りには、地域の住宅を回り、祭りのお知らせをポスティングした。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所での研修等に、地域の皆様に参加していただけるよう 働きかけています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年、定期開催を目標に家族、地域住民、行政の参加を目標に、施設運営状況を報告させていただきます。	昨年度の外部評価で年6回の開催をステップ目標とし、本年は2ヶ月毎奇数月に開催をしている。現況報告、意見交換などが行われている。	参加者に地元地域の方がみえないので、自治会長・民生委員・老人会の方・近隣住民の方など幅広く参加を求め、会議の充実をはかるよう期待する。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市や地域包括支援センター等の研修へ積極的に参加。施設で振り返りも含め勉強会を行い 情報の共有化をはかります。研修会の案内を掲示しています。	市役所担当窓口へ出かけ、法的なことなど指導助言を受けている。また、研修会へ出席をしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居者様の尊厳を保つよう支援させていただきます。職員の言葉がけ ケアについても意識する	職員会議で研修を行い、拘束の弊害について学んでいる。日々のケアの中で気づいた時は、その都度直接職員に話して改善に努め、さらに会議で全員で見直しをしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	常に虐待防止意識を持ち、気になる点があれば、その都度職員同士注意あう。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会セミナー(県市)に参加 職員の意識向上のため 情報の共有を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者および家族の方々の利益 不利益にかかわらず変更があるときは、必ず説明同意を得ます。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	普段から本音が話せる関係 コミュニケーション作りに努め 運営推進会議への出席をおねがいし 意見をいただいております。	何でも言いやすく、言える関係が大事と考え、コミュニケーション作りに努めている。面会時には、利用者の様子を知らせて、意見・意向を聞いている。運営推進会議へ出席して意見表出の場になっている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月 職員全員が集まるとき(施設会議等)に本部社員も出席し、運営 介護の方針を話し合い理解を深めます。	毎月1回、職員会議を開催して職員の意見交換をしている。働きやすい職場となるよう、それぞれ個別に思いや意見を聴くように努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が、健康で、安全に仕事を出来る様シフトの交替も快く行い、皆が働きやすい職場作りを目指しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は、ケアがマンネリ化しないよう 施設会議等で勉強会で自分自身を振り返る。新人教育には担当者を決め、不安にならないよう じっくり慣れていただきます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流を積極的に図り、情報交換等行い サービス向上に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様の不安な気持ちを察して ゆっくり最後まで話を聞かせていただきます。また家族様には生活歴をお聞きしながら、急激な変化を行わずに安心していただくように致します。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の不安には積極的に応えさせていただき 安心していただく様連絡を取り合うよう努めます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人 家族の必要としている支援サービスを第一に考える。他のサービスもあることも説明させていただきます。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人様の持っている力を見出し、洗濯たみ 食事の下ごしらえ等に 感謝の気持ちを伝える。入居者 職員が支えながらチームの一員になっていただきます。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時家族様の気持ちが伝わり、入居者さまが安心して過ごせるような環境づくりにご協力いただきます。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族 友達の面会時はお部屋で ゆっくりと話をして頂きます	友人の訪問もある。特に神社仏閣へ行くのは利用者の楽しみで出かけている。ホームの畑での野菜作りには、種の売り出しを広告を見て買いに行き、種まきから始めて農業経験豊かな利用者の出番になっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクをするとき協力しながら作業していただきながら会話をし、仲間を意識していただきます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された家族様とも 連絡を取り合っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人様の気持ちを大事にし、やりたいこと、できることの手助けをさせていただく。強制はしない。	利用者の思いを汲み取り、無理強いをしないようにしている。みんなで一緒にする中でも、やりたい人・やりたくない人があるので、その思いを大事にする支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	普段から 家族様に生活歴をお聞きし 入居者様との話題作りをしながら、聞かせていただきます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の体調状態の把握を行い、一日の過ごし方は ご本人様の「出来ることを行っています」。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	常に職員は意見交換し 面会時には家族の意向も聞き、サービス計画を作成する。	施設長(介護支援専門員兼務)が、サービス担当者会議での意見、日ごろの介護記録から計画書を作成している。おおむね、短期目標で6か月で見直しをしている。モニタリングはカンファレンスの都度話し合っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	出勤者全員で申し送りに参加し、日々の様子 変化について介護記録 連絡ノートの確認により 情報交換させていただきます。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々の生活の変化に気を配り、入居者や家族の意向に柔軟に対応し、今後の支援につなげる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアさんに入っただき一緒にお茶を飲みながら、コミュニケーションをとらせていただいております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	日々の体調管理を行い、Drにはこまめな報告をし、医師 薬剤師の指示のもと支援させていただきます。他科受診時は 家族と同行し情報提供いたします。	協力医の往診が月1回ある。さらに医療での訪問看護の看護師が週に1回バイタルチェックに来ている。緊急時や異変があればすぐ医師に連絡をして指示を仰いでいる。他の診療については家族に同行して状態を報告し受診支援をしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1度程度の訪問看護を受け 心身の状態報告し 日常の健康管理につてケアの方法についても相談しながら支援させていただきます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族様とともに医療機関での情報交換を行い入院中は見舞いに積極的に行き病院での状態把握に努め 施設復帰に向け情報を得る。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	顕著な機能低下が見られた場合 家族と連絡を密に取りケアについて、医師を含めた話し合いの機会をつくる。	希望があれば看取りをする方針であり、すでに2名の方を送った。ただ、医療に関して処置はできないので、医師の判断で家族と話し合いをもち対応をしていく方針である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的にAED、人工呼吸法などの訓練を行い緊急時の対応についてもマニュアル作り、職員応援の体制を作っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消火訓練、避難訓練を定期的に行い、自治会の協力応援体制の依頼をおこなっている。	主に火災を想定した防災訓練を実施しており、AEDが設置してあり、使い方などの訓練も行っている。今後、地域・自治会の協力を得た訓練も実際に行う用意をしている。スプリンクラーは未設置であるが、備蓄は3日分用意している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご本人様の気持ちを一番にし、プライドを傷つけることのないような 声掛け 対応をさせていただきます。	利用者本人が一番との思いで接している。混乱していれば、声掛けをせず落ち着かせることを心がけている。人前で不快感を及ぼすことがあれば、さり気なく対応をして、尊厳を傷つけないよう支援をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の表情や行動の意味を一緒に考えさせていただき、理解させていただきます。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常に入居者本位の姿勢をとらせていただき、のんびり自由に過ごしていただきます。レクの参加も本人の意思尊重。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	破損 汚れのあるものは、家族に連絡して交換していただく様依頼する。本人の好み、着脱しやすいよう支援をさせていただきます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様と職員が下準備 片づけをともに行っていただくことに 感謝の気持ちを伝えさせていただきます お楽しみ献立を取り入れたり 嗜好にも対応し、楽しく会話しながら一緒にたべます。	下ごしらえはあらかじめ出来るものは前もって利用者としている。畑で収穫した野菜や頂いた野菜などを使い、手作り料理で美味しさが引き立ち、職員も同じものを食べている。誕生日や行事には特別な器や膳を使って工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	嗜好や食事形態についても 柔軟な対応をさせていただきます。水分摂取についてもお茶だけでなく 代替品も考慮し積極的に取れる様にさせていただきます		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアを促し、できないところは介助させていただきます 義歯の不具合等に気を配り 訪問歯科に相談させていただきます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄間隔を把握し、尿意の訴えがないかたには 定期的な声掛けにて トイレ誘導を行いトイレでの排泄をうながします。職員はご本人様の不快感を常に意識する。	一人を除き全員がトイレで排泄する支援をしており、ポータブルトイレを使用する人はない。また、寝たきりであっても、寝かせきりにしない支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事摂取 飲水状態の把握し、果物 お茶以外の飲み物の提供を行います。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	ゆっくり入浴できるようにし、無理強いせず に 楽しく入っていただけるよう 個々に寄り添った入浴のタイミングを計っています。	午前・午後お風呂は沸かして、時間を決めずにその人に合わせて入浴をしている。概ね週3回の入浴である。時には入浴剤を使うこともあり、季節のゆず湯やしょうぶ湯は欠かさずしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後は 軽めの昼寝の提供 場所は本人様が、ゆっくり休めるところを勧めます。寝られない時は、ゆっくり話を聞きながら 一緒に過ごさせていただきます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方変更の経緯の確認は必ず行い、服薬後の 様子観察の徹底。変化時は 医師に たちちに報告指示を受ける。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯たたみ 台拭き等を入居者をお願いしてやりがいをもっていただきます。季節感を味わっていただくため、お花見紅葉見物にでかけます。買い物外出します。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外気浴や散歩に出かけている。家族との外出時には、状態報告を行い食事形態等も伝えます。外出時は 施設の車いすを必要時には、貸与いたします。	ホームを一步出れば、自然豊かな空気に触れることができる。遠くまでの花見などでお出かけもあるが、近くを散歩するのも日課にしている。特に神社仏閣は利用者が好きなお出かけ先に出かけている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在金銭の所持はありません。広告等で季節の野菜 衣服等見ながら 物価等について話します。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時には 電話します。年賀状・暑中見舞い等を家族様あてに手書きしていただいております。手紙をいただいた時には返事を書く支援します。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	空調管理 居室清掃 トイレ掃除を毎日行い清潔な環境作りをします。手作り作品の掲示等で季節感を感じていただきます。	利用者は、鈴鹿の山並みや田畑、家々が見渡せるリビングで日中のほとんどを過ごしている。今は夏の名残りの西日が厳しいため日よけでフォローしてある。壁には日ごろの様子を伝える写真や作品が飾られて賑やかである。ソファが廊下の幾ヶ所かに置かれ、利用者が休息できる場になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室 廊下に 椅子 ソファ 長椅子を置き 自由に座っていただき 隣の人と話していただいたり 畳の所で 足を伸ばしてゆっくり過ごしていただく。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の着てみえた服、布団等を持参いただきます。タンス内の整理整頓を一緒に行いながら写真など飾り落ち着いた空間作りを行います。	居室は北向き2つ、南向き7つで、廊下を隔てて対面である。各居室に一人用の座る椅子と小さなテーブルが置かれ、自由に使っている。クローゼットが設備しており、衣類などがきちんと整理整頓されている。家族の写真が飾られるなど思い思いの居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置や個々の状態に合わせて日々の生活に取り入れた運動 レクを続けラジオ体操 嚙下体操を行い身体機能の維持向上に努め安全に生活していただきます。		